

ソーシャルメディア議員として、情報提供・情報公開の徹底!!

我孫子市議会議員

水野 ゆうき

ゆう Can Change!

議会報告 vol.9 2014年

水野ゆうきは市政・議会・議員の見える化を推進しています。



ブログ

<http://ameblo.jp/yuukimizuno/>



フェイスブック
水野友貴



公式HP

<http://www.mizunoyuuki.com/>



ツイッター
@yuukitten



水野ゆうき 任期前半2年の政策・選挙公約実績と活動報告

情報発信力強化:我孫子市Facebookを2月から運用開始(※試験運転)

「情報」は市民の「命綱」です。2011年3月11日の東日本大震災、2011年11月の市議選、2012年5月に発生した断水時と市のホームページが3度もダウンしたことにより市民への情報が遮断される事態に陥りました。

2011年の初議会から水野ゆうきは一般質問に登壇し、市の情報発信の強化に力を入れ、議会の度に市のネット環境の脆弱さと市民への情報提供手段に苦言を呈してきました。

そして水野ゆうきが選挙公約に掲げた、情報提供の在り方の一つとして提案したSNSツール(Facebook)について、2014年2月から我孫子市はFacebookの導入を決定しました。情報を得る市民にとって特に災害時の窓口は複数あるべきです。我孫子市の情報発信が前進しました。



地方改革の師としている佐賀県武雄市の樋渡啓佑市長を訪問。Facebookcity課を視察。

相次いだ教育現場・教育行政の不祥事にメス～再発防止への対策～

この2年間、教育現場及び教育行政にて不祥事が相次ぎました。その中で、議会への報告タイミング、教育委員会の役割等が不明確であることなど、毎議会教育委員会へ信頼回復に向けた追及と提言を繰り返しました。

1 教育関係者の一連の不祥事

水野ゆうきの提言・解決策

相談窓口が充実していないことや教育委員会の実態が見えてないことを指摘。

教育委員会は相談の為にメール目安箱を設置し、また我孫子市教育委員会不祥事防止検討委員会を設置しました。教育長、教育委員による直接的な学校現場訪問を実施しています。

2 入試用調査書誤記入問題

市内中学校にて受験用調査書のミスが発覚。全国的に大きく報道されました。原因は初歩的なコピーペーストのミスと確認不足。更に原本を処分していたことが発覚しました。

水野ゆうきの提言・解決策

◎再発防止策として全教職員へのマニュアル徹底指導・研修実施案
→2013年に実施。

◎既に他自治体が導入している全校統一した内申書用ソフト導入
→来年度予算計上予定・平成27年度より実施予定。

3 不祥事における責任の所在が不明確

それぞれの事件に対し、責任の所在が曖昧であり、教育長及び教育委員会の役割が市民に見えにくい現実を指摘。

水野ゆうきの提言・解決策

教育長が2013年に辞任し、新たに行政経験が豊富な倉部氏が教育長に就任しました。これを機に市と教育委員会とのパイプ役を担い、直接児童・生徒と触れ合い、教育長の活動の見える化を提案しました。

新教育長はホームページにて『教育長だより』(教育長の活動報告・コメント付)を開始。また市と教育委員会での意思・情報共有が図れなかったことを原因とし、すれ違いをなくし、教育長は子どもたちと直接積極的に話すことを一番重要事項として捉えているとのこと。

放射能関連 ～一時保管場所問題・除染～

1 高濃度放射性物質を含むごみ焼却灰一時保管問題

2012年12月に突然千葉県が手賀沼終末処理場に柏市・松戸市・流山市の高濃度放射性物質を含むごみ焼却灰を搬入すると発表。2013年6月以降、搬入ストップしていますが、現在の保管量は約526トン。ごみ焼却灰とは別に、手賀沼終末処理場に保管されている下水道の汚泥焼却灰は指定廃棄物約550トンを含めて約1,800トンになります。

実際に手賀沼終末処理場を視察し、安全措置が雑であることがわかりました。放射能対策特別委員会・我孫子市は追加措置を千葉県に要望しました。国は2014年3月末までに最終処分場に手賀沼終末処理場から搬出することとしていますが、現時点で最終処分場の候補地選定が進んでいない

中、最終処分場の建設まで終わらせることはスケジュール的に困難であることを指摘。市長の強固な姿勢を見せ、具体的スケジュールを出すこと、早急に県が安全措置を講じるよう市として県に連絡するよう要望しています。



手賀沼終末処理場のテント倉庫に保管されている高濃度焼却灰

2 手賀沼公園除染

手賀沼公園は我孫子市のシンボルであり、多くのイベントが開催されます。また2013年に3年ぶりに開催された手賀沼花火大会までに間に合わせるよう後回しにせず早めに除染するよう要望した結果、0.23マイクロシーベルトを超える箇所を除染を終わらせました。